

## 草むらの世界

a2200528 森 郁恵

### 【背景】

私たちの世界には人間だけでなく様々な生き物が生きている。そのことに気づかされたのが栗林慧さんの昆虫の視点から撮った写真や映像である。庭や道路の端、あるいは家の中など、昆虫はすぐ近くにいる存在のはずなのに、意識しないのでそのことを忘れてしまいがちである。

普段、私たちの視点で世界を見て生きている。しかし、視点を地面近くまで低くして周りを見渡すと、私たち人間が生活する世界とは違う世界が見えてくる。

### 【目的】

現実の世界なのに普段目にするののない世界を表現しようと思い、草むらの世界を撮影することにした。また、昆虫の棲む草むらの世界で起きている生きるための命のやりとりなど様々な出来事を撮影し映像化することで本物の命を感じてもらえるようなコンテンツを制作することを目的とする。

### 【方法】

1. マクロレンズを使用してDVカメラで撮影
2. Web上で見れるようにする



図1



図2



マクロレンズをDVカメラに取り付けた図

### 【制作】

#### 1. 撮影

撮影をするときに、どのレンズが一番よく撮れるかをいろいろ試した。(図1)小さなレンズが適していると当初考えていたが、レンズの品質とレンズ自体の集光量が少なく市販のDVカメラの感度とは合わないなどあった。様々な組み合わせを検討した結果、図2に示すマクロレンズが一番よく撮れた。

#### 2. 編集

iMovieによって、ブレが大きい映像のカットやステッチをおこなった。

#### 3. トップページとボタンを作成

親しみやすくするために、トップページのボタンはイラストにすることにした。

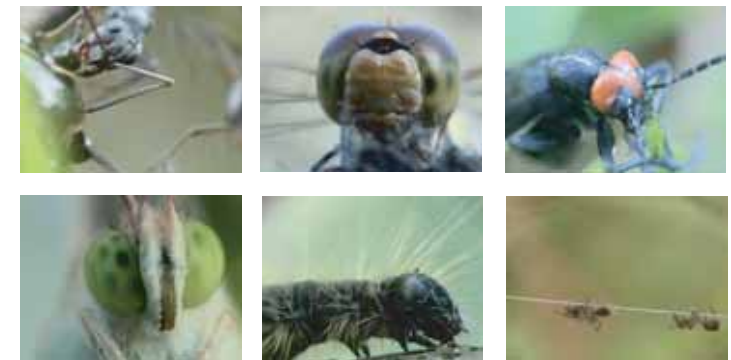
#### 4. Web製作

Flashを用いてWeb上で公開するのに最適な映像の編集をおこなった。

### トップ



### 映像



### 【考察】

実際に草むらで昆虫を撮影してみて、出てきた問題点として、マクロレンズで撮影するため、少しの手ぶれが映像としては大きなぶれとなって現れ映像として使用できないものがあった。マクロレンズが一種類だったことで、バッタなどの少し大きな昆虫は全体を撮影することができなかった。アリなどの昆虫は動きが早いので追いかけて撮影するのが困難だった。等が挙げられる。

しかし、昆虫を撮ろうと意識して、じっと撮影していたため、今まではあまり昆虫は好きな方ではなかったが、卒業制作をきっかけに昆虫が身近に感じ、親しみを覚えた。また、昆虫によって日常の中の命を感じ取って欲しいと思った。ニュースでは、毎日のようにイジメや殺人の報道がされている。そこで、昆虫によって「命」を少しでも感じてもらえたら、と考えた。残酷に虫を殺したりする子どももいるが、その時何か嫌な思いをし、「命」というものを知ることが出来ると思った。